

#### 4. RPV への9月訪問について（5日目） -9月11日(月)-

- パロスベルデス半島統一学区教育事務所を訪問し、ALTの現地採用や教員相互の人事交流の促進を図るため、要望書を提出し、意見交換を行った。
- ミラステテ中学校を訪問し、更なる学校間のオンライン交流の実施やRPVからの中学生のホームステイの受け入れを実施するため、要望書を提出し、意見交換を行った。
- 訪問後には親善昼食会があり、RPV副市長と在ロサンゼルス日本国総領事館の青島主席を交え昼食をとりながら親交を深めた。

##### 1. RPVの教育について

###### (1) RPVの教育

RPVは、特別区政府である「パロスベルデス半島統一学区」(PVPUSD: Palos Verdes Peninsula Unified School District) に属している。

同学区はパロスベルデス半島の4つの都市(ランチョパロスベルデス、パロスベルデスエステーツ、ローリングヒルズ、ローリングヒルズエステーツ)とそれ以外の非編入地域(都市に属さない地域)にサービスを提供しており、学生数は約11,000人である。質の高い教育システムがあるという学区の評判から多くの家族が学校のある郊外エリアに集まる。

同学区内には、公立高校が2校、公立中学校が3校、公立小学校が10校、私立高校が1校あり、私立小学校が5校、私立のK-12(ケースルートウエンティ)学校(小中高の一貫教育校)が3校ある。

RPV市内に限定すると、公立中学校が2校、公立小学校が6校、私立小学校が2校ある。

米国では高校までが義務教育と考えられており、高校までの公立校の学費が無料である。費用面から9割近い国民は公立校に進学する。私立校は、有料である代わりに公立より質の高い教育を受けることができる。

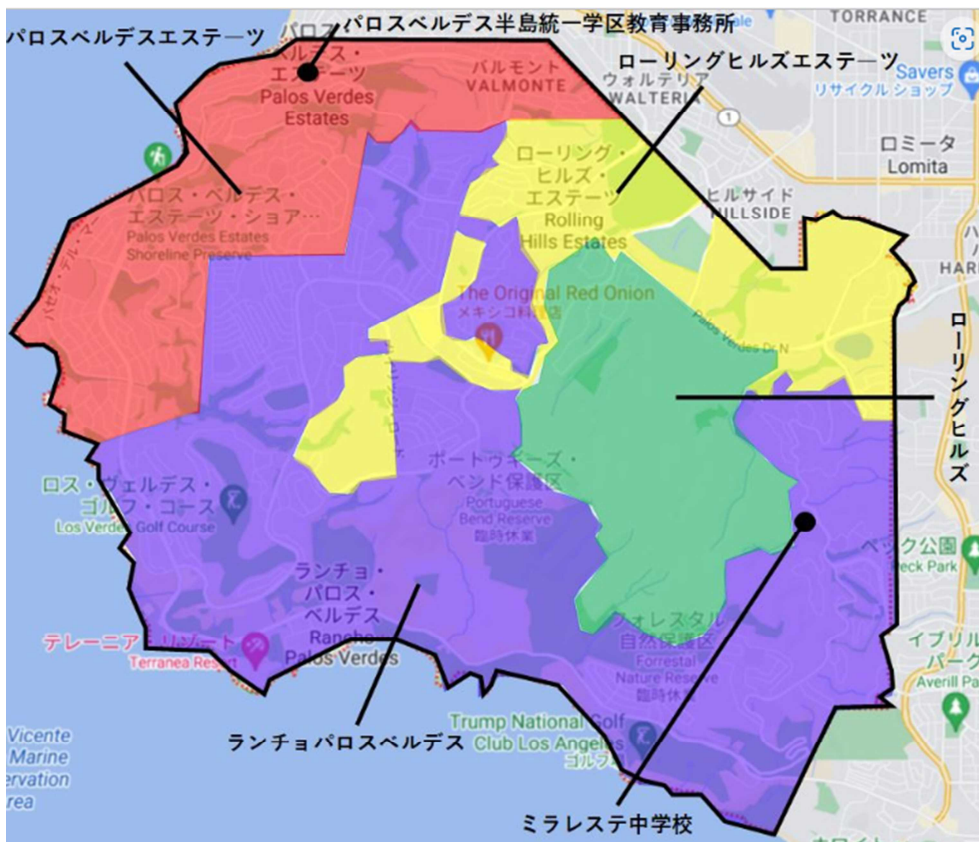
###### (2) ミラステテ中学校

ミラステテ中学校はRPVにある公立中学校で、約800人の生徒が在学する。ミラステテ中学校の教師がさくら市でALTをしていた縁により、さくら市の中学校と交流がある。

米国の学校では教師は生徒に授業をするだけの職業である。生徒に授業をする以外の業務については、カウンセラーや看護師、心理士、相談員など、それぞれ専門のスタッフが対応する。

他の米国の学校と同様、学年は9月にはじまり、6月半ばには夏休み、8月後半に夏休み終了である。

【パロスベルデス半島統一学区図】

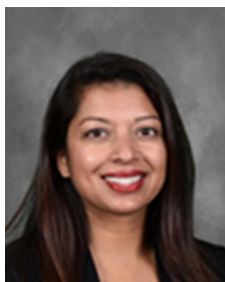


(3) PVPUSD の教育委員会

パロスベルデス半島統一学区教育委員会には、一般選挙で選出された5人の委員がいる。任期は4年で、選挙は偶数年の11月に行われ、選挙ごとに2～3議席が空席となるように期日がずらされている。



デビン・セラーノ 教育長



アミ・ガンジー 委員長



リンダ・リード 副委員長



リンダ・カート 委員



サラ・ディーン 委員長



ジュリー・ヘルム 委員

## 2. PVPUSD 及びミラステテ中学校への要望事項

### (1) PVPUSD への要望事項

要望事項
<b>ALTの現地採用と教員相互の人事交流の促進</b>
内容詳細
本市においては、言語教育の重要性を認識し、異文化交流を通じた教育の充実を目指しています。ランチョパロスヴェルデス市の学校においてALT(外国語指導助手)の現地採用を行い、言語教育の質の向上に貢献したいと考えています。また、教員間の人事交流も行いたいと考えています。短期間の人事交流を実施することにより、教育方法やカリキュラムの相互理解を深め、教育の国際化を推進したいと考えています。
期待できる効果
言語教育の質の向上:現地採用のALTを通じて、生徒たちの語学力の向上や異文化理解の促進が期待できます。また、教員間の人事交流により、教育方法や教育システムの相互理解が深まり、より効果的な教育プログラムの開発が可能となります。

### (2) ミラステテ中学校への要望事項

要望事項1
<b>学校間のオンライン交流の実施</b>
内容詳細
現在の世界情勢において、オンライン交流は貴重な手段となっています。私たちは、ランチョパロスベルデス市の学校との間で学校間のオンライン交流を定期的に行いたいと考えています。この交流により、生徒たちが異文化に触れ、国際的な視野を広げる機会を提供できます。さらに、言語スキルやコミュニケーション能力の向上にも寄与することが期待されます。
期待できる効果
国際的な視野の拡大:オンライン交流やホームステイプログラムにより、生徒たちは異文化に触れ、異なる視点から世界を見ることができるようになります。これにより、相互の理解や尊重、国際協力の意識が醸成され、世界市民として成長が促されます。
要望事項2
<b>アメリカからの中学生のホームステイの受け入れ</b>
内容詳細
私たちは、ランチョパロスベルデス市の中学生との交流を深めたいと願っております。ランチョパロスベルデス市からの中学生をホームステイ形式で受け入れることにより、文化や言語の交換を通じて、相互の理解と友情を育む機会を提供したいと考えています。このような交流プログラムは、生徒たちの国際的な視野の拡大や異文化への理解を深める上で非常に有益なものとなると思われます。
期待できる効果
友好関係の深化:教育交流を通じて、ランチョパロスベルデス市との友好関係が一層深まります。学生や教職員同士の交流を通じて、相互の文化や伝統に対する理解が進み、長期的なパートナーシップの形成につながるでしょう。

### 3. PVPUSD 教育事務所訪問・意見交換

(1) 日 時 9月11日(土) 9:00~10:00

(2) 場 所 PVPUSD 教育事務所

(3) 相手側(4名)

PVPUSD : D. セラーノ教育長、L. カート教育委員 他

RPV : カリナ

(4) 市側(9名)

花塚市長、橋本教育長、石岡議員、岡村議員、大河原議員 他

(5) 内容

教育長室にご案内いただき PVPUSD の概要を説明いただいた後、要望事項について、デビン教育長とリンダ教育委員と意見交換を行った。

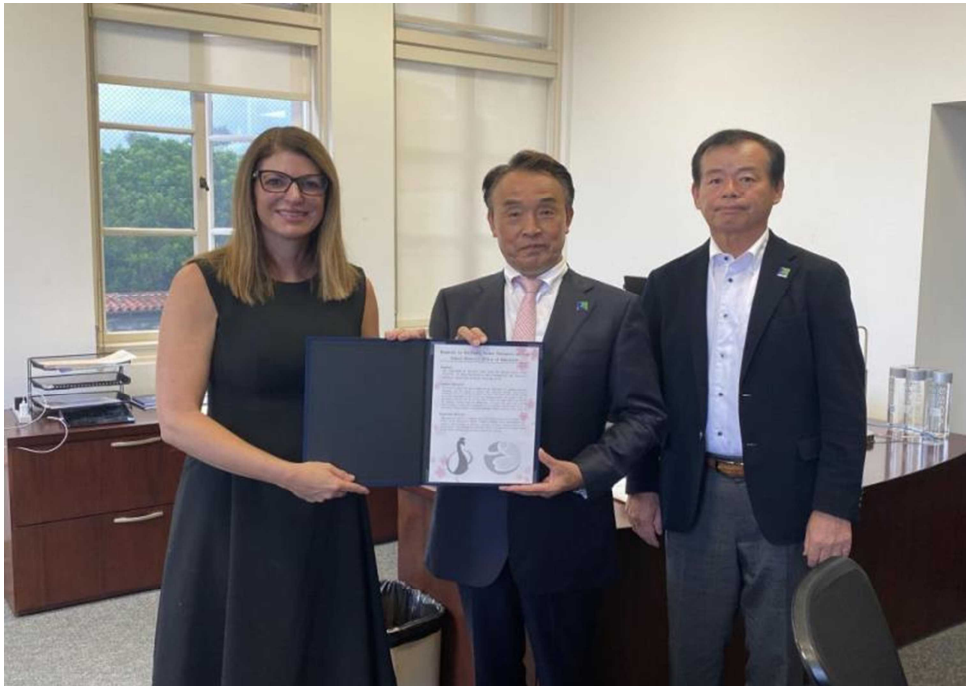
PVPUSD における教師の人数は約 700 人おり、教員免許試験は州が所管しているが、教師の採用は各学校が直接行っている。そのため、教師の学校間の異動はほとんど発生しない。

ALT の現地採用については、同ロサンゼルス郡のトーランスと千葉県柏市の事例を紹介いただいた(紹介はミラレスト中学校)。柏市とトーランスは国際友好都市関係にあり、ALT をトーランスが選抜し、柏市に派遣している。今後、同様の仕組みを取り入れられるかを RPV と検討していく。

教員相互の人事交流については、業務に影響する時期の実施は困難だが、夏休み期間中であれば、実施の可能性はあるとの回答をいただいた。今後、具体的なプログラムを企画し、実施について PVPUSD と調整を図っていく。



意見交換の様子



D. セラーノ教育長に要望書を提出

#### 4. ミラステ中学校訪問・意見交換

(1) 日 時 9月11日(土) 11:00~12:30

(2) 場 所 ミラステ中学校

(3) 相手側(6名)

ミラステ中学校：M.リホールト校長、D.バーバラ教頭、M.ケッターナ教諭 他

PVPUSD：L.カート教育委員

RPV：カリナ

(4) 市側(9名)

花塚市長、橋本教育長、石岡議員、岡村議員、大河原議員 他

(5) 内容

意見交換の前には、校内を視察し、生徒達による太鼓の演奏や喜連川温泉音頭による歓迎のパフォーマンスがあった。

パフォーマンス後に、M.リホールト校長、D.バーバラ教頭、M.ケッターナ教諭、L.カート教育委員と要望事項について、意見交換を行った。

学校間のオンライン交流の実施については、現在、不定期で実施しているが、今後は頻度を増やし、更なる文化交流を進めていくことで合意を得られた。

RPVからの中学生のホームステイの受け入れについては、ミラステ中学校の生徒が本市にホームステイすることを検討していたが、コロナ禍で立ち消えてしまっていたとのことだった。本市の市制20周年に併せて実現したい旨を伝え、今後、実現に向けてミラステ中学校と協議を行う。



意見交換の様子



M. リホールト校長に要望書を提出

## 5. 親善昼食会

(1) 日 時 9月11日(土) 13:00~14:30

(2) 場 所 市内レストラン

(3) 相手側(6名)

RPV: B. フェラーロ市長、カリナ

在ロサンゼルス日本国総領事館: 青島主席

(4) 市側(9名)

花塚市長、橋本教育長、石岡議員、岡村議員、大河原議員 他

(5) 内容

ミラレステ中学校訪問が終了し、13時から市役所付近にあるレストランにて親善昼食会が行われた。

RPVからはB. フェラーロ市長、カリナが参加し、在ロサンゼルス日本国総領事館の青島主席も参加いただいた。本市の市制20周年や友好都市締結5周年記念イベントへの招待のことで話が花が咲いた。その後、昼食会は13時30分頃に終了し、ホテルへ帰宅、5日目の日程が終了した。



親善昼食会の様子



B. フェラーロ市長、カリナ、青島主席との写真撮影